

生ごみ専用ごみ箱「スマート i-BOX」の試作機開発について

本市では、これまでも様々なごみ減量・資源化施策の推進を図り、循環型社会の形成の推進に向けた取組みを実施してきました。

しかし、燃やすごみとして収集されるごみの中には、生ごみが約4割程度含まれていることから、生ごみを分別して収集し、資源化することでさらなる循環型社会の形成の推進に寄与できると考えております。

そこで、ごみの減量・資源化の推進と利便性の向上を両立することを目的に24時間、生ごみを排出することができるよう、「スマート i-BOX」の試作機を開発を行いました。QRコードを読み取ることで開閉する生ごみ専用のごみ箱の開発は、全国初の取り組みです。

1. 製品仕様

サイズ (幅×長さ×高さ) (mm)	重量 (kg)	筐体
約600×約650×約1400	約110	ステンレス製、遮光塗料使用

※ 内箱は90Lのキャスターペール

2. 動力源

太陽光パネルとバッテリーを装備し、外部電源を必要としない環境に配慮した設計。

3. 機能

- ・蓄積量を把握し、通信する機能
- ・投入口が自動的に開閉する機能
- ・使用情報が記録される機能

4. 今後について

市民への周知・啓発、試験運用を通し、ごみの減量・資源化の促進と利便性の向上に繋がるように改良していく。



スマート i-BOX